

裏面より・・・

A.現在、地中化事業で主に計画しているのは幹線道路や重要文化財、伝統的建造物群保存地区などが挙げられます。

その中でも、金閣寺や銀閣寺などの重要文化財や伝統的建造物群保存地区を特に（電線類地中化を）進めていきたいと思っております。

Q.電線類地中化が進まない原因は何と考えますか？

A.一番大きいのは財政面やコストがかかるということです。

Q.もし、コスト面が解決できれば電線類地中化は進むと思いますか？

A.場所によりけりですね。

例を挙げるとすれば、変圧器を地面に設置するわけですが、それを設置するスペースがないほど狭い場所はやりたくてもできません。他にも上下水道やガス管などのインフラ設備との兼ね合いも必要です。

それ以外の場所は積極的に進めていきたいと思っております。

お忙しい中、質問に答えてくださった道路計画課の職員さんにもう一度感謝です！やはり、コスト面での負担が地中化が進まない原因になっている現状ですね…。

ここは国から電線類地中化専用の補助金を新しく開設してもらったり、海外からの観光客を迎える観光地という観点から訴えていけば自然と地中化が普及していきますよね！

**観光地活性化には電線類地中化の
補助金制度創設が急務！**

「私達」が住む日本の空を、「私達」が美しい空へ変えましょう！

美空～MISORA～

第19号

発行日：2010年1月15日（金）

発行者：NPO法人電線のない街づくり支援ネットワーク

理事長 高田昇

【特集】京都市の電線類地中化事情 ～ピンチ！？計画中止の危機！～

今回の記事は京都市の電線類地中化の現状を紹介したいと思います。歴史的建造物が立ち並ぶ京都の街並み。

昨年11月に、京都市東山区に位置する高台寺と清水寺を結ぶ一年坂と二年坂、そして産寧坂が地中化されました。

//順調に見える京都市の電線類地中化事業ですが、現在ち危機にさらされています。

今回はその事例を紹介していきます！



京都市東山区に位置する産寧坂、

引用：京都新聞

新政権で大ピンチ？

消えるかもしれない補助金

さて、産寧坂付近の地中化が完成し、ますます景観が良くなっている京都の観光名所。その背景には国からの補助金によって支えられている事実があります。しかし、昨年の鳩山新政権発足で公共事業の抑制が焦点になっています。

本年度予算の二次補正案(緊急経済対策)では、現行計画を実現するための電線地中化事業は盛り込まれています。しかし、無電柱化が公共事業の抑制対象に含まれるかどうか不明とのことです...

地中化工事には1キロ当たり7億円が必要で、工事費の半分は国の補助金で賄っているのが現状。

金閣寺や銀閣寺周辺など、まだまだ、地中化すべきである観光地はたくさんあります。

いったいどうなってしまうのでしょうか...？

このちらが地中化された後、産寧坂、同じアンテナ柱が開放的で、すなわち、ねたが、やはり開放的ですね！



そこで、京都市の担当の方に直接聞いてみました！

当NPOのHP(ホームページ)でも、最新情報を詳しく載せていきますので、ぜひこちらへもアクセスしてください！ <http://nponpc.org/top.aspx>



どうすれば、京都市の電線 地中化事業は発展するのか？ 現職の担当者に突撃質問

京都市建設局・道路建設部・道路計画課の職員の方にスバリ疑問をぶつけてみました！ご協力ありがとうございました！

Q.府に補助金の支給を取り合ってもらうことはできないのでしょうか？

A.府でも市でも補助金を出してくれるのは国からなので、どちらにせよ補助金がカットされたら、府に頼んでも対応はできないです。

Q.有名な観光地周辺に地中化事業を肯定してくれる団体、または住民は存在するのでしょうか？

A.例を挙げますと、銀閣寺周辺では既に測量設計に取り掛かっており、地元の方には話しています。しかし、(地中化事業を肯定してくれるような)団体が存在するかは把握しておりません。

Q.金閣寺や銀閣寺など、ほかの地域以外で、地中化したいが出来ないところがありますでしょうか？

表面へ続く...

メールマガジンも好評配信中です！！

当NPOでは、メールマガジンも配信させていただいております。電線地中化に関するコラム・情報を月2回お楽しみいただけます！ぜひこちらにもご登録ください！アドレスはコチラ → <http://www.mag2.com/m/0000266000.html>

